

表紙等・目次

権利	Copyrights 日本貿易振興機構（ジェトロ）アジア 経済研究所 / Institute of Developing Economies, Japan External Trade Organization (IDE-JETRO) http://www.ide.go.jp
雑誌名	アジ研ワールド・トレンド
巻	153
発行年	2008-06
出版者	日本貿易振興機構アジア経済研究所
URL	http://hdl.handle.net/2344/00004980

アジ研 ワールド・トレンド

発展途上国の明日を展望する分析情報誌

6

2008

第153号

特集●

国際機関における「障害と開発」の最新の動きを探る

分析レポート●

第12回マレーシア総選挙



CONTENTS

2008・6月号
第153号●目次

1 巻頭エッセイ 障害者の権利条約における国際協力の重要性

東 俊裕

特集 国際機関における「障害と開発」の最新の動きを探る

2	●国連を中心とした世界の国際機関における「障害と開発」への動き	森 壮也
4	●障害者の権利条約の第32条のフォローアップ	長田こずえ
9	●国連人口基金における「障害と開発」に関する取り組み ―国連機関による障害者権利条約実施のための活動	井筒 節
12	●国連における障害者政策の枠組みと障害者権利条約―障害に関する新たな規範とその枠組み	伊東亜紀子
14	●円借款事業における社会開発の取り組み ―ユニバーサルデザインを通じた障害と開発のメインストーリーミング	土橋喜人
18	●日本の技術協力における障害者のメインストーリーミング	越智 薫
22	●世界銀行における「障害と開発」のメインストーリーミングとエンパワメント政策の動向	シャーロット・マクレーン=ヌラボ
24	トレンド・レポート 台湾総統選挙と中国国民党の政権奪還	竹内孝之
28	トレンド・レポート ラウル「新政権」のキューバ	山岡加奈子
31	分析レポート 第12回マレーシア総選挙 ―華人・インド人に見限られた与党連合	中村正志
38	連載／もっとやさしい開発経済学 第7回 障害と開発―社会的コストを障害者に転嫁する社会	森 壮也
40	フォト・エッセイ K君の暮らす村―ベトナム北部ハーナム省	寺本 実
44	カルチャー・ショック 外国人のみた日本 ウナギとドジョウ 日本人のみた外国 ヤムはのど越し	ホセ・コルデイロ 望月克哉
46	ブックシェルフ 新刊紹介／工藤年博編『ミャンマー経済の実像―なぜ軍政は生き残れたのか』 レファレンスコーナー／東南アジアの日本人	工藤年博 石井美千子
48	アジア各国・地域 経済統計	図書館資料サービス課
52	研究所だより	

◆表紙写真：ベトナム・ハノイの旧市街（写真提供：裕林社、撮影：中塚裕）

◆本誌に掲載されている記事などの内容や意見は、外部原稿を含め、執筆者個人に属し、日本貿易振興機構あるいはアジア経済研究所の公式見解を示すものではありません。

アジア経済研究所の刊行物のご案内

アジ研選書 No.11 発売中 2,940円

鈴木均編『アフガニスタンと周辺国——6年間の経験と復興への展望——』

●序 章		鈴木 均
●第1章	アフガニスタン国家の特質と対周辺国関係	鈴木 均
●第2章	9・11事件後のアフガニスタンの地政学的枠組み	清水 学
コラム	ソ連・ロシアとアフガニスタン国境	金 成浩
●第3章	南西アジアの国際関係——「アフガニスタン問題」と パキスタン——	深町宏樹
●第4章	関係改善への遠い道のり——アフガニスタンからみた パキスタン——	柴田和重
コラム	19世紀アフガニスタンの対周辺国関係	登利谷正人
●第5章	イランの外交政策形成とアフガニスタン問題の位置づけ	田中浩一郎
コラム	アフガニスタン復興援助の現状と課題	大門 毅
●第6章	アフガニスタンをめぐる域内協力と復興援助	大西 圓
資料	アフガニスタンの言語状況	吉枝聡子

アジ研選書 No.12 発売中 3,045円

工藤年博編『ミャンマー経済の実像——なぜ軍政は生き残れたのか——』

●序 章	軍政下のミャンマー経済——停滞と「持続」のメカニズム——	工藤年博
●第1章	開放経済化とミャンマー産業発展	工藤年博
●第2章	インフラの現状とミャンマー政府の対応 ——道路と電力を対象として——	嶋田晴行
●第3章	ミャンマーの食糧問題——体制維持と米穀政策——	岡本郁子
●第4章	ミャンマーの「貧困」問題——食料政策との関連を中心に——	藤田幸一
●第5章	ミャンマーのマクロ経済運営	久保公二
●第6章	ミャンマーと中国の経済協力関係	畢 世鴻
●第7章	ASEAN・ミャンマー関係——相互依存から膠着へ——	石田正美

アジア経済 第49巻第5号 発売中 1,050円

●論文	体制移行経済諸国の経済成長における国家の役割	鈴木 拓
●研究ノート	韓国の経済危機と公共勤労事業の展開	鄭 在哲
●学界展望	京都国際カンファレンス——「開発途上経済におけるビジネス グループの進化ダイナミックス」	星野妙子
●書 評	関恒樹著『海域世界の民族誌——フィリピン島嶼部における 移動・生業・アイデンティティ——』	川田牧人
	石井洋子著『開発フロンティアの民族誌——東アフリカ・灌漑 計画のなかに生きる人びと——』	上田 元
	伊藤泰信著『先住民の知識人類学——ニュージーランド=マオリの知と 社会に関するエスノグラフィ——』	小池 誠
●紹介	呉密察監修 遠流台湾館編著 横澤泰夫日本語版編訳 『台湾史小事典』	池上 寛

* 上記価格は消費税込価格です。

* ご購入・お問い合わせは、研究支援部出版企画編集課（出版物販売＝Tel: 043-299-9735 Fax: 043-299-9736

e-mail: syuppan@ide.go.jp）まで。

—研究所だより—



▼出版物のご案内

●研究双書

* No. 567 森壮也編『障害と開発——途上国の障害当事者と社会——』
四、四一〇円（税込）

* No. 568 玉田芳史・船津鶴代編『タイ政治・行政の変革1991—2006年』四、八三〇円（税込）

●アジ研選書
* No. 11 鈴木均編『アフガニスタンと周辺国——六年間の経験と復興への展望——』二、九四〇円（税込）
* No. 12 工藤年博編『ミャンマー経済の実像——なぜ軍政は生き残れたのか——』三、〇四五円（税込）
* No. 13 山田俊一編『エジプトの政治経済改革』三九九〇円（税込）

●文献解説

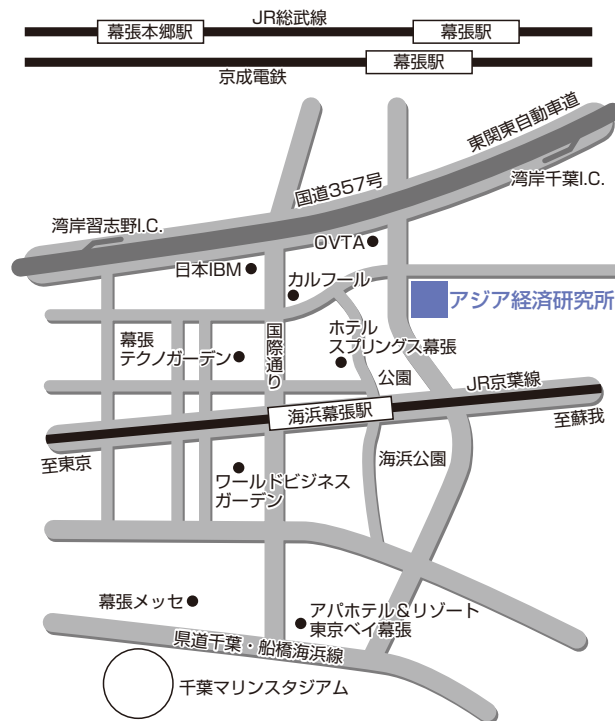
* No. 41 二階宏之編著『朝鮮半島における南北経済協力—韓国からの視点—』二、九四〇円（税込）

* 問合せ・申込先 研究支援部出版企画編集課（販売担当直通）
TEL: 043-299-9735
FAX: 043-299-9736

▼最近の主な海外来訪者

▼次号の特集は「インドネシアの民主化一〇年—その成果と課題—」です。

アジア経済研究所へのご案内



アジア経済研究所ホームページのご案内

アジア経済研究所ホームページには、研究活動の検索、出版物のオンライン注文、講演会のご案内、図書館の蔵書検索などの機能が満載されています。『アジ研ワールド・トレンド』バックナンバーの目次と「フォト・エッセイ」も見ることができます。是非ご利用下さい。

<http://www.ide.go.jp>

『アジ研ワールド・トレンド』 第14巻第6号 通巻153号

2008年6月1日発行

編集・発行

日本貿易振興機構 アジア経済研究所

研究支援部

〒261-8545 千葉市美浜区若葉3丁目2番2

TEL 043(299)9735 FAX 043(299)9736

<http://www.ide.go.jp>

印刷

社会福祉法人東京コロニー コロニー印刷



——グアテマラ、マヤの歴史を織る人びと—— トドス・サントス・クチュマタン

撮影：デニス・グレイ、フォトグラファー／解説：小林グレイ愛子、タペストリー作家

標高2500メートル弱の高地にあるトドスサントス村は数少ない男性の民族衣装が残っている所。男性の服はシンプルな手織りの縞模様のジャケット地に襟と袖口はマヤ伝来の幾何学模様が女性によって丁寧に織られている見事なもの。中には女性のウィピールの柄とおそろいに織られたベアルックのほほえましいカップルを見かけたりする。パンツは赤のストライプで、その上にソブレバンタロンと言う黒のウールで出来たカバーをつける。これは中世のスペインの羊飼いが使っていたものがそのまま伝わり残っているものだそう。女性は織り、男性はかぎ針で木綿(今はアクリルの糸)のバッグを編むという分業が守られている。いまだに街角では男性たちが自分用のショルダーバッグを編みながら、おしゃべりをしている珍しい光景を見ることができる。男性によって編まれたバッグは、ビール瓶が入っても破れることはない程がっちり固くでき、時には自分の名前なども編みこまれているこったものもある。朝晩冷える寒い土地なのに女性の腰の巻き布コルテは、なぜか薄手の短かめの藍の手織り布が着られている。